

2024年1月9日、月1回のリハビリテーション科全体ミーティングで浪越副主任が症例報告を行いました。

今回の患者様は、腰部脊柱管狭窄症で椎弓形成術と除圧を施行され、「階段を上る際に右のお尻が痛い」という訴えがありました。まず、浪越副主任から患者様の情報が提示され、階段を上る際の痛みの原因について各個人で考えました。つぎに、各病棟に分かれてリーダーを中心に解剖学・運動学的な観点から痛みの原因について話し合い、その内容を全体で共有しました。最後に、浪越副主任から階段を上る動作の問題点の仮説と検査測定結果を踏まえた問題点の要約、実施した理学療法、そして考察を聞きました。

今回、階段を上る動作を分析する上で正常動作を知ること、右のお尻の痛みが生じた原因を運動・解剖学的に解釈することで階段を上る動作の実用性が向上することを学びました。また、この症例報告は近日中に学会で発表されることを知りました。

今後も、患者様をしっかりと治すため様々な取り組みを行い、リハビリテーションの質の向上に取り組んでまいります。

(文責 井町 蒼太、佐野 紘一)

【勉強会風景】



【勉強会資料】

Physical Therapy from Case Reports
1-18
右大殿筋の筋力低下により昇段動作で右臀部に疼痛が生じ安定性・耐久性の低下を認めた腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎弓形成術後の症例
腰部脊柱管狭窄症、昇段動作、大殿筋

